

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】問題用紙 No.1

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

問I 以下の取引A及びBについての各設間にに対する答えを解答用紙に示せ。

« 取引 A »

従業員の出張にあたり、旅費交通費の概算額¥200,000を現金で渡した。

« 取引 B »

出張中の従業員から普通預金口座に¥100,000の振込みがあったが、その内容は不明である。

- ① 上記取引Aの仕訳を解答用紙に示しなさい。
- ② 上記取引Aの仕訳において、借方に『旅費交通費』勘定を計上できない理由を述べよ。
- ③ 上記取引Bの仕訳を解答用紙に示しなさい。
- ④ 上記取引Bの仕訳において、貸方に用いた勘定科目の内容を説明しなさい。

問II 説明文A及びBについて、以下の各設間に答えよ。

« 説明文 A »

企業活動の結果として資本が増加する原因である。

« 説明文 B »

企業活動の結果として資本が減少する原因である。

- ① 上記説明文Aは、資産、負債、純資産、費用、収益のいずれの説明文であるかをまず示し、資本が増加する原因となる具体的な取引例を解答用紙に明示しなさい。
- ② 上記説明文Bは、資産、負債、純資産、費用、収益のいずれの説明文であるかをまず示し、資本が減少する原因となる具体的な取引例を解答用紙に明示しなさい。

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】問題用紙 No.2

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

## 問III 以下の連続する取引について解答用紙に仕訳を示しなさい。

10月10日 当社は、顧客に対して商品¥100,000 をクレジットカード販売によって売り上げた。なお、手数料は、販売代金の5%であり、信販会社に対する債権から差し引くものとする。

20日 信販会社から、手数料を差し引いた販売代金が当社の当座預金口座に振り込まれた。

## 問IV 以下の各仕訳から取引内容を推定し、その内容を解答用紙に示しなさい。

### 『仕 訳』

① (借) 現金 100,000 (貸) 債却債権取立益 100,000

② (借) 修繕費 200,000 (貸) 差入保証金 600,000  
普通預金 400,000

## 問V 以下のそれぞれの設問に対する答えを、解答用紙に示しなさい。

① 『資本的支出』についての内容を、具体例を用いて説明しなさい。

② 『収益的支出』についての内容を、具体例を用いて説明しなさい。

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】問題用紙 No. 3

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

問VI 以下のそれぞれの設問に対する答えを、解答用紙に示しなさい。

- ① 「貸倒れ」とは何か、その内容を説明しなさい。
- ② 決算において「貸倒引当金」を設定する理由を述べよ。

問題VII 以下の連続する取引について、解答用紙に仕訳を示しなさい。

- ① 郵便切手¥16,400と収入印紙¥10,000を現金で購入し、全額を費用処理した。
- ② 決算にあたり、上記①のうち未使用の郵便切手¥5,740と収入印紙¥2,400を貯蔵品勘定に振り替えた。

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 1

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

## 問 I

① (借) (貸)

②

③ (借) (貸)

④

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 2

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

## 問Ⅱ

①

②

## 問Ⅲ

10月10日

(借)

(貸)

20日

(借)

(貸)

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 3

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

## 問IV

①

②

## 問V

①

②

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 4

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

## 問題VI

①

②

## 問題VII

① (借) (貸)

② (借) (貸)

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No.1

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

問I 以下の取引A及びBについての各設問に対する答えを解答用紙に示せ。

## 【解答例】

- ① (借) 仮払金 200,000 (貸) 現金 200,000
- ② 従業員に対して旅費交通費として概算額を現金で渡しているが、その時点において金額はまだ確定していない。金額が確定するまでの間、仮払金勘定で処理しておき、金額が確定した時点において旅費交通費勘定に振り替える処理を行う。
- ③ (借) 普通預金 100,000 (貸) 仮受金 100,000
- ④ 普通預金への振り込みがあったものの、その内容が確認できておらず、一時的に仮受金勘定で処理しておく。後日、その内容が確定したときに、仮受金勘定から該当する勘定に振り替える。

問II 以下の説明分A及びBについての各設問に答えよ。

## 【解答例】

- ① 収益の説明文である。

たとえば、商品を売り上げるとその対価として現金の受け取りや売掛金などの債権が発生することになる。商品の売り上げにより収益が発生すると、それに伴い資産が増加する。資本等式によれば、資産－負債＝資本なので、資産の増加は資本に対してプラスの影響を及ぼすことになる。それゆえ、収益の発生は、資本の増加原因であるということができる。

- ② 費用の説明文である。

たとえば、商品を仕入れるとその対価として現金の支払いや買掛金などの債務が発生することになる。商品の仕入れにより費用が発生すると、それに伴い資産が減少し、あるいは負債が増加する。資本等式によれば、資産－負債＝資本なので、資産の減少や負

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 2

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

債の増加は資本に対してマイナスの影響を及ぼすことになる。それゆえ、費用の発生は、資本の減少原因であるということができる。

問III 以下の連續する取引について解答用紙に仕訳を示しなさい。

## 【解答例】

10月10日

(借) クレジット売掛金	95,000	(貸)	売	上	100,000
支払手数料					5,000

20日

(借) 当座預金	95,000	(貸) クレジット売掛金	95,000
----------	--------	--------------	--------

問IV 以下の各仕訳から取引内容を推定し、その内容を解答用紙に示しなさい。

## 【解答例】

① 過年度に貸倒れとして処理した売掛金など的一部または全部が、当期になって回収される場合がある。この場合には、回収額を償却債権取立益勘定(収益)の貸方に記入する。それゆえ、本問題は、前期に貸倒れとして処理した売掛金のうち、¥100,000を現金で回収したものと推定される。

② たとえば、不動産の賃貸借契約を解約し、契約時に支払っていた敷金(保証金)¥600,000について、修繕費¥200,000を差し引かれた残額が普通預金口座に振り込まれた。

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 3

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

問V 以下のそれぞれの設問に対する答えを、解答用紙に示しなさい。

## 【解答例】

- ① 有形固定資産を購入した後に、その有形固定資産について金銭を支出した場合、その支出によって当該固定資産の価値が増加し、または耐用年数が延びるときは、その支出額を取得原価に加える。このような支出を資本的支出という。たとえば、建物の建築・改築が行われた場合には、建物という資産の価値の増加または耐用年数の延長をもたらすため、このための支出は資本的支出として建物の取得原価に加算する。
- ② 有形固定資産について、現状の機能を維持・回復させるため、通常予定される修理・保守のための支出が行われるとときは修繕費勘定を設け、その借方に記入して支出した年度の費用として処理する。このような支出を収益的支出という。たとえば、建物のガラスが割れたときの補修のための支出は、現状回復のために行われ、本来の建物の価値の増加も耐用年数の延長もとくにもたらさないため、修繕費として処理する。

問VI 以下のそれぞれの設問に対する答えを、解答用紙に示しなさい。

## 【解答例】

- ① 得意先の倒産などによって、売掛金、受取手形、電子記録債権などの債権を回収できなくなることを貸倒れという。
- ② 売掛金などの債権には、貸倒れになる危険性があるので、決算にあたっては、過去の貸倒実績率にもとづいてその貸倒れの予想額を見積もり、貸倒引当金を設定する。決算で貸倒引当金を設定するのは、次期以降に生じる恐れのある貸倒れの原因が、既に当期に生じていると考えるため。

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

\*の欄は記入しないこと

# 2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜 前期 【簿記】 解答用紙 No. 4

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

問題VII 以下の連続する取引について、解答用紙に仕訳を示しなさい。

## 【解答例】

- ① (借) 通信費 16,400 (貸) 現金 26,400  
租税公課 10,000
- ② (借) 貯蔵品 8,140 (貸) 通信費 5,740  
租税公課 2,400

受験番号		氏名		*	*
------	--	----	--	---	---

\*の欄は記入しないこと